

**単元名 2 視野を広げて 一文法への扉1 すいかは幾つ必要？**
**配当時間 1時間**

**単元の目標** (1) 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。  
(3) 助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとする。

**標準的な展開例**

12210112\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 これまでの文法学習を振り返り、表現や読み取りに文法を生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ これまで学習した文法を、自分の表現や読み取りに生かそう。</li> <li>○ 教科書 (p. 61) を読み、例と同じように誤解が生じたという経験を発表する。</li> <li>○ 文法を生かして伝え合う (p. 212～p. 213) を読み、下段の問題に取り組む。</li>   <li>○ 文法を生かして読み味わう (p. 214) を読み、下段の問題に取り組む。</li>   <li>○ 本時を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの言語生活を振り返り、誤解やすれ違いが起こってしまった例を出させる。</li> <li>・ 項目(文節・連文節の対応、意味のまとまり呼応の副詞)ごとに読み、それぞれのポイントを理解してから問題に取り組ませる。</li> <li>【評】練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 1語の違いで、イメージが大きく変わってしまうことに着目させたい。</li> <li>【評】これまでの文法学習を生かし、練習問題に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

**【 備 考 】**

論説的な文章では、筆者の主張（抽象）に対して、複数の事例や根拠（具体）を挙げて解説している。文章における、具体と抽象の関係を捉え、筆者の論理の展開を評価しながら、筆者の主張を読み取り、人間や社会に対する考えを広げたり、深めたりさせたい。

また、スピーチの学習では、人々の価値観や行動に影響を与え、社会を変える力をもつスピーチの力を実感すると共に、社会生活の中から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成や発表の仕方を工夫することで、様々なことに問題意識をもち、社会に視野を広げさせたい。